

**教育に関する事務の管理及び執行の
状況の点検、評価報告書**

令和3年度事業の評価結果

令和5年1月 16 日

安芸太田町教育委員会

目 次

はじめに	1 頁
1 企画政策費	
（1）加計高校を育てる会支援事業	3 頁
2 児童福祉費	
（1）子ども・子育て支援事業（評価無し）	5 頁
（2）子育て支援センター運営事業	5 頁
（3）児童センター運営事業	6 頁
（4）児童福祉施設事業	7 頁
（5）保育所（園）管理事業	8 頁
3 教育総務費	
・学校の概要及び教育施策（評価無し）	11 頁
（1）教育委員会運営事業	13 頁
（2）教育委員会事務局運営事業	14 頁
（3）奨学金貸付基金運営事業	16 頁
（4）連携教育推進事業	17 頁
（5）先端技術導入実証研究事業	19 頁
4 小・中学校費	
（1）小・中学校管理事業	20 頁
5 教育振興費	
（1）小学校教育振興事業・中学校教育振興事業	22 頁
（2）小学校就学援助事業・中学校就学支援事業	24 頁
（3）「山・海・島」体験活動推進事業（評価無し）	26 頁
6 保健体育費（共同調理場費）	
（1）加計共同調理場運営事業・筒賀共同調理場運営事業	27 頁
7 社会教育費	
（1）社会教育総務管理事業	29 頁
（2）社会教育施設管理事業（評価無し）	30 頁
（3）文化財保護管理事業	30 頁
（4）生涯学習推進事業	31 頁
（5）図書館運営事業	38 頁
（6）放課後子ども教室推進事業	39 頁
8 保健体育費（共同調理場費を除く）	
（1）保健体育総務管理事業	41 頁
（2）体育施設管理事業（評価無し）	42 頁
（3）社会体育振興事業	44 頁

はじめに

1 趣旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正により、教育委員会は毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに公表しなければならないこととされています。

安芸太田町教育委員会では、事務・事業の点検を行い、教育行政サービスの質の向上と効率化の実現、コスト削減を進めるために、評価し、仕事の再点検・再確認を行うとともに、厳しい財政状況における効果的な町民サービスを実現させ、効率的な教育行政の推進に資するよう努めます。

2 安芸太田町教育委員会点検・評価の方法

評価は各事業等について、行政内部による評価を行います。

その後、社会教育委員会議（外部委員）に諮り、議会への提出、ホームページで公表します。

また、公表により町民の皆さんからいただく意見、要望も参考にし、今後の事業計画に反映していきます。以上の工程を毎年繰り返すことで、事業の改善を進めよりよい教育行政の運営に努めます。

3 実施の方法

◎ 評価について

(1) 評価の対象とする事業

事業評価をする項目は、安芸太田町主要施策の成果に関する調書をベースに評価します。ただし、予算のほとんどが事務費や管理費である場合は、評価しません。評価する年度で終了・廃止となる事業についても、すべて評価対象となります。

(2) 事業評価における評価者（記入者）

事業評価は事業予算担当者が評価者となります。

(3) 事業の評価

ア 必要性

現在の町民ニーズや社会経済情勢に照らして、事業の必要性があるかどうか、状況の変化に対応しているかどうかを評価します。

イ 有効性

施策や運営方針、町で策定した長期総合計画の目的の実現にどの程度寄与しているかを評価します。

ウ 経済・効率性

事業のコストがかかりすぎていないか、最小の経費で最大の効果を発揮しているか、無駄がないかなど、経済性の面から評価します。

また、事務状況の評価し、併せて目標の設定水準が適切かどうかとも検討します。

エ 評価

事業の各評価項目を勘案し、外部評価委員の評価と意見の聞き取りを行います。

～ 評価のランク ～

A	優れた取組が多く、十分成果が上がっている
B	優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている
C	成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い
D	成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要

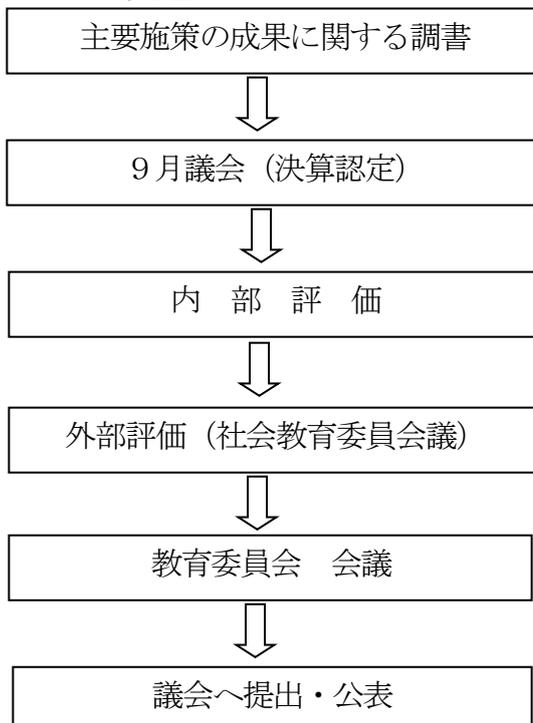
(4) 事業の方向性

上記の評価結果を踏まえて、今後どのように事業を進めるかを選択します。

(5) 評価結果の公表

公表に際しては、議会へ提出し町ホームページに掲載します。

～ 実施フロー ～



1 企画政策費

(1) 加計高校を育てる会支援事業

① 事業の目的

本町唯一の高等学校である県立加計高等学校の特色ある教育の推進と、県立高等学校再編整備基本計画における統廃合対象校である加計高等学校の存続を目指し、それに要する経費に対し補助金を交付する。

② 事業の成果と課題

安芸太田町人材育成・交流センター（愛称：黎明館、居室 60 室）が令和 4 年 3 月に完成し、これまで以上に地域の皆様とも連携を深めていく拠点として機能させるとともに、加計高等学校の寮としても機能させ、加計高等学校の魅力化を進める。

令和元年度から新たに地方創生推進交付金の対象事業として地域再生計画の認定を受け、ローカルビジネス創出コーディネート配置事業を実施。生徒のニーズをもとに高校で行う総合的な探究の時間において課題解決に向けてのプロジェクトを企画し実践した。祇園坊柿を活用し、イニミニマニモとコラボして商品開発した「菊芋サブレ祇園坊柿バターサンド」の量産に向けた製造販売を町内事業者に対し協力依頼交渉を行った。そして、菊芋のもつ栄養成分のイヌリン効果による血糖値の上昇を抑制し、整腸作用にも効果があり、糖尿病患者の急増の抑制にも効果のある菊芋をパウダー化したものを商品開発するなど、道の駅来夢とごうちの活性化に向け、地域商社とコラボしたホンモロコの釣り堀カフェを開催するなど、地域資源を活用した商品開発や商品化に向けた実践活動などを積極的に行った。

地元の中学校を対象としたオープンスクールや進路講演、進路面接指導を行うなど中学校と連携した活動を行い、中高連携を深めた。

また、平成 28 年度から引き続き、中高一貫教育に伴う連携枠として地元出身生徒の確保や町外からの生徒確保のため、「地域みらい留学」プロジェクトに参加し、オンラインによる全国公募に努めた。

進路対策講座の一環として行っている「公営塾」は、会場を川・森・文化・交流センターとし、土日及び学校の振替休日を利用して開催し、延べ 360 人が参加した。

加計高校生徒数（令和 3 年 5 月現在、単位：人）

1 年生	2 年生	3 年生	合計
30	39	37	106

加計高校を育てる会への補助金内訳

事業名	金額[円]	内容
総合教育支援	6,949,919	進路対策講座、探究時間学習支援、部活動支援 中高連携支援
生徒居住支援	9,590,360	生徒寮居住支援 34 名
広報活動支援	3,050,000	地域みらい留学支援（県外生徒募集）、学校広報 活動費用（五輪の峰、生徒募集チラシ作成費等）
合計	19,590,279	

2 児童福祉費

(1) 子ども・子育て支援事業

① 事業の目的・内容

次代の安芸太田町を担う子どもの健やかな成長のために、「第2期安芸太田町子ども・子育て支援事業計画」（令和2年度～令和6年度）を策定している。

② 事業の成果と課題

計画策定に基づき、事業を進めていく中で、「森のようちえん」構想等、地域の自然資源の活用や過疎・少子化に対応した子育て支援策を行う必要がある。

③ 歳出決算額 10,000 円

(2) 子育て支援センター運営事業

① 事業の目的・内容

加計認定こども園あさひ、認定こども園とごうち内にある子育て支援センターを拠点として地域の子育て家庭に対する育児支援を行う。

② 事業の成果と課題

これまでの継続的な取り組みの中で、センター事業の認知度は上がり、支援センターを利用することで、保育所・認定こども園の様子を知る機会となり、保健師などの協力により、相談、支援業務も充実してきている。また、保護者のコミュニティの造成にも寄与し支援センター事業の必要性は高い。

一方、今後は出生数の減少、保育所・こども園入園（所）者の低年齢化により、今後の利用者減少は避けられない。また、引き続き新型コロナウイルス感染症の対応の中、子育てに不安を抱く世代の不安解消対策が必要となっている。

利用状況は下表のとおりである。

施設名	利用人数	開設日数	平均利用者数
加計のびのび 子育て支援センター	延べ579人	129日	保護者1.9人/日 子ども2.5人/日
戸河内 子育て支援センター	延べ204人	129日	保護者0.8人/日 子ども0.8人/日

③ 歳出決算額 4,113,429 円

◆評価

事業の 評価	必要性（町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要あるか）			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか）			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化、コスト縮減しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	

備 考			
外部評価	B	評価委員意見	少子化が進み子育て家庭が少ないことにより子育てへの不安や悩みを相談することができにくい中で支援センターの役割は大きい。
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了		

(3) 児童センター運営事業

① 事業の目的・内容

筒賀児童センターは地域の児童館としての機能を有し、放課後児童クラブを併設している。筒賀児童センターは令和2年度より開設した加計放課後児童クラブとともに学校の放課後、長期休業中において、児童に生活の場を提供し、指導員の保護や支援のもとで、児童の健全育成を図るとともに、保護者の就労と子育ての両立を支援している。

② 事業の成果と課題

児童センター事業として、行事計画を立て、自然を活用しながらの創作活動や体験活動など多彩な行事を展開し、健康かつ情操豊かな児童の育成を図った。

令和3年度は、前年度に比べ筒賀放課後児童クラブの延べ利用人数は1,866人少なく、加計放課後児童クラブの延べ利用人数は360人多かった。

労働等で日中に保護者がいない世帯が増加し、放課後児童クラブ利用の要望は多くあるため指導員の確保及び質の向上に努め、事業の推進を図る必要がある。

ア 利用状況

事業名	利用人数	開館日数	平均利用者数
筒賀児童センター	延べ 7,036 人	254 日	27.7 人/日
加計放課後児童クラブ	延べ 5,484 人	254 日	21.6 人/日

イ 放課後児童クラブ利用料状況

(単位：円)

利用児童数	収入金額	未収入金額
140 人	1,093,500 円	0 円

③ 歳出決算額 16,465,644 円

◆評価

事業の評価	必要性 (町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要あるか)			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性 (施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性 (事務効率化、コスト縮減しているか)			
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	

	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
備考				
外部評価	B	評価委員意見	学校外での安心安全な居場所として引き続き充実させてもらいたい。	
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了			

(4) 児童福祉施設事業

① 事業の目的・内容

認定こども園、保育所等の老朽化した施設の改修及び環境整備を図る。筒賀保育所の老朽化に伴い、隣接する筒賀小学校内に移転し、小規模保育事業所として保育所運営を開始した。

② 事業の成果と課題

隣接する筒賀小学校の一部を改修し、統合施設とすることにより既存施設の有効活用と就学前の教育・保育環境の改善が図れた。今後、町全体の児童福祉施設としては、老朽化の進む保育施設の計画的な改修を図る必要がある。

③ 歳出決算額 116,059,907 円

◆評価

事業の評価	必要性（町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要あるか）			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか）			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化、コスト縮減しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
備考				
外部評価	B	評価委員意見	施設の老朽化に対して環境整備や改善は必要なことであり、今後も計画的に進めていただきたい。	
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了			

(5) 保育所（園）管理事業

① 事業の目的・内容

就学前の子どもに教育、保育等の総合的な提供を行うために乳幼児を保育する。

町内2認定こども園、1認可保育所及び1小規模保育事業所で保育を実施した。

令和元年10月から国の幼児教育無償化施策により、3歳以上児の保育料が無償化された。併せて町独自の施策として、これまでの第2子以降保育料無償化に加え、給食費についても無償化を実施している。

② 事業の成果と課題

新たに保小の連携教育事業を行い、これまで以上に小学校との連携を図り、相互参観、外部教師による講習を実施し小学校は新一年生のスタートカリキュラム、年長児アプローチカリキュラムの策定を行った。

新年度は、引き続きスムーズな接続を図るため、様々な事業を計画している。今後、子どもたちのための事業を精査して行う必要がある。

③ 歳出決算額 46,827,118円

入所児童数

(令和4年3月末現在)

保育所・こども園名	定員	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	充足率
加計認定こども園あさひ	60	2	5	6	10	15	14	52	86.7%
修道保育所	20	0	2	2 (1)	2	1	2	9 (1)	45.0%
筒賀保育所	19	2 (1)	2	0	5	5	2	16 (1)	84.2%
認定こども園とごうち	60	2	3	15 (1)	14	11 (1)	16	61 (2)	101.7%
合計	159	6 (1)	12	23 (2)	31	32 (1)	34	138 (4)	86.8%

() 内広域入所受託児童数

④ 収納状況

現年度保育料

保育所（園）・こども園名	調定金額[円]	収入金額[円]	未収入金額[円]
加計認定こども園あさひ	623,530	623,530	0
修道保育所	98,550	98,550	0
筒賀保育所	60,000	60,000	0
認定こども園とごうち	2,168,320	2,168,320	0
合計	2,950,400	2,950,400	0

令和3年度 滞納繰越保育料

保育所（園）・こども園名	調定金額[円]	収入金額[円]	未収入金額[円]
—	0	0	0
合 計	0	0	0

一時保育料

保育所・こども園名	利用児童数（延べ）	収入金額[円]	未収入金額[円]
加計認定こども園あさひ	65	103,190	0
修道保育所	0	0	0
筒賀保育所	0	0	0
認定こども園とごうち	30	46,360	0
合 計	95	149,550	0

時間外保育料

保育所・こども園名	利用児童数（延べ）	収入金額[円]	未収入金額[円]
加計認定こども園あさひ	110	21,970	0
修道保育所	0	0	0
筒賀保育所	6	1,800	0
認定こども園とごうち	294	62,490	0
合 計	410	86,260	0

広域入所

受託市町名	受入児童数（延べ）	利用保育所・こども園	受託金額[円]
広島市	3	修道1，とごうち2	3,905,140
廿日市市	1	筒賀1	377,000
合 計	4		4,282,140

◆評価

事業の評価	必要性（町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要あるか）			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか）			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化、コスト縮減しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）				

	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
備考				
外部評価	B	評価委員意見	無償化に向けた取り組みは町としての姿勢をうかがうことができる。全国的には様々な事件事故が起きている。安心安全な園経営を行っていただきたい。	
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了			

3 教育総務費

・学校の概要及び教育施策

小学校は、児童数 216 名で前年度と比べて 5 名増であり、中学校は、生徒数 96 名で前年度と比べて 2 名増であった。（学級数は前年度と同じ）

広島県教育委員会の掲げる「遊び 学び 育つひろしまっ子！」推進プランによる「幼保小連携教育の推進」の委託事業を活用して令和元年度から取組みを進めている。園・所等の教員・保育士等と小学校教員が協働して「安芸太田町のめざす子ども像」に向けて作成した接続カリキュラムに基づき日々の活動を実施するとともに、保小合同研修や合同活動に取り組んだ。

本町が日本技術士会中国本部と提携して主催する「安芸太田町科学アカデミー（次世代科学者育成プログラム）」は 9 年目となり、日本技術士会中国本部の協力による「科学工作」（8 月）と「実験」（10 月）を行った。小学 1～3 年生は、手作りスーパーカーを作り、遠くまで進むかを競い合い、小学 4～6 年生は、強力なネオジウム磁石とコイル、コップを使って良質な音が聞こえるスピーカーを作り、熱心に取り組む姿が印象的だった。開催後のアンケートでは、「ものづくりは楽しかった。」「ものづくりは将来の役に立つと思う。」の 2 項目とも肯定的な回答が 100%であった。

小学 6 年と中学校 3 年生を対象とした「全国学力・学習状況調査」の結果は、小学校の学力については、国語・算数とも県や全国平均を上回っており、中学校の学力については、国語・数学とも概ね県や全国平均と同程度であった。調査結果から児童生徒一人一人の回答の状況（どこでつまづいているか）等に注目して、日々の学習指導の改善・充実を図るために役立てている。

また、これからの社会で必要な対話による学ぶ力を育てるため、文部科学省「学びにおける先端技術の効果的な活用に関する実証研究事業」（2 年目）を受託し、これまで続けてきた協調学習に先端技術を導入することで、更に充実した取組みとなるよう尽力し、全国から注目を集めた。

外国語活動については、JETプログラムにより招聘した外国語指導助手（ALT）2 名と、外国語教育推進員を加えた 3 名配置を活かし町内の就学前施設や小学校、中学校へ定期的に訪問し、各校種での外国語教育の充実を図っている。

GIGAスクール構想により導入した 1 人 1 台端末の本格運用が開始となり、授業での端末の利活用を進めると共に家庭への持ち帰り、オンラインでの授業配信について取り組んだ。

新型コロナウイルス感染症の蔓延によりオンライン授業配信の必要性も上がり、各学校において取組みを進めた。

学校別児童・生徒数及び教職員数（令和3年5月1日現在）

小学校

(単位：人)

	加計	筒賀	上殿	戸河内	合計
学級数	8 (2)	5 (1)	4 (1)	4	21(4)
1年生	17(1)	9	3	9	38
2年生	20	11	3	7	41
3年生	17	10(1)	2	5	34
4年生	16(1)	7	4	6	33
5年生	18(1)	7	3	9	37
6年生	13	6	9 (1)	5	33
計	101	50	24	41	216
学校長	1	1	1	1	4
教頭	1	1	1	1	4
教諭	10	5	3	4	22
養護教諭	1	1	1	1	4
事務職員	1	1	1	1	4
栄養教諭	0	1	0	0	1
計	14	10	7	8	39

※学級数の（ ）は、うち特別支援学級数。

※教職員数 教諭は、本務者の数。

中学校

(単位：人)

区分	加計	安芸太田	合計
学級数	5 (2)	5 (2)	10(4)
1年生	19	14	33
2年生	16(1)	14(1)	30
3年生	17(1)	16(1)	33
計	52	44	96
学校長	1	1	2
教頭	1	1	2
教諭	13	11	24
養護教諭	1	1	2
事務職員	1	1	2
計	17	15	32

※学級数の（ ）は、特別支援学級数。

(1) 教育委員会運営事業

① 安芸太田町教育委員等

教育長：二見吉康

教育委員：清胤祐子・川野法順・池野博文・河本千絵

② 教育委員会議の開催状況 12回

日 時	主な協議事項	出席委員
4月19日	安芸太田町学校運営協議会委員の委嘱について 安芸太田町社会教育委員の委嘱について 安芸太田町公民館運営協議会委員の委嘱について 安芸太田町立図書館協議会委員の任命について 安芸太田町スポーツ推進委員の委嘱について	5
5月17日	令和4年度に義務教育諸学校で使用する教科用図書の採択について 令和3年度5月1日における児童生徒数について 学校で一人一台配備しているタブレット端末の持ち帰りについて	5
6月15日	学校適正配置について 服務規律の厳正確保について 安芸太田町保小中高連絡協議会の開催について	4
7月19日	安芸太田町社会教育委員の委嘱について 安芸太田町公民館運営審議会委員の委嘱について 安芸太田町立図書館協議会委員の任命について 学校適正配置基本方針について	4
8月25日	令和4年度使用中学校教科用図書の採択について 著作教科書及び学校教育法附則第9条第1項の規定による教科用図書の採択について 新型コロナウイルス感染防止対策の徹底について	4
9月27日	全国学力・学習状況調査の結果について 指導要録作成及び管理等における諸規定の一部改訂について 服務規律の厳正確保について 学校における働き方改革取組方針に基づく各指標の状況について	4
10月22日	安芸太田町立学校教職員（県費負担教職員）ハラスメント防止要綱の制定について 学校適正配置について ホストタウン事後交流会について	4
11月26日	安芸太田町立学校設置条例の一部改正案を議会に上程することについて 広島県公立学校教職員人事異動方針について 令和4年度広島県広島市公立学校教員採用候補者選考試験の結果について 令和4年成人式について	4
12月23日	安芸太田町立小・中学校の通学区域に関する規則の一部改正について 筒賀児童センター運営委員会委員の委嘱について 上殿小学校休校の取扱いについて 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検、評価報告書について	5

日 時	主な協議事項	出席委員
1月20日	安芸太田町立学校職員服務規程の一部改正について 安芸太田町筒賀児童センター運営管理規程の制定について 新型コロナウイルス感染症の対策について	5
2月16日	学校運営協議会の新設について 服務規律の厳正確保について 学校における働き方改革取組方針に基づく各指標の状況について	4
3月15日	安芸太田町教育委員会事務局等に勤務する職員の勤務時間の特例に関する規定の一部改正について 令和4年度安芸太田町学校運営協議会委員の委嘱について 安芸太田町立小・中学校の管理及び学校教育法の実施に関する規則の様式の改正について 県費教職員の任免その他の進退の内申について 上殿小学校の休校について	4

③ 学校訪問・研究公開訪問

なし

④ 歳出決算額（報酬・費用弁償・負担金） 1,155,654円

(2) 教育委員会事務局運営事業

・ALT（外国語指導助手）活用事業

① 事業の目的・内容

ALTはJETプログラムによる2名と、外国語教育推進員の3名体制で全小中学校へ毎週（小学校週2回、中学校週2回）訪問し、児童・生徒の英語による実践的コミュニケーション能力の育成と国際理解を深めた。

また、町内各こども園や保育所へ訪問し、就学前教育の充実を図った。

② 事業の成果と課題

新型コロナウイルス感染症の蔓延により来日が遅れていたが、9月に新しいALTを迎え、3名体制で学校訪問と、園所への訪問を行うことができた。

適宜ALTと担当教諭のミーティングを行い、お互いに授業におけるALTの役割を理解し、チームティーチングでの授業作りに努めることができた。

小学校では授業の中でALTの自国の文化を紹介する時間や、本の読み聞かせの時間をとり、ネイティブな英語に触れる時間を持たせることができています。

中学校においては英語科の授業のほか、休憩時間や他の活動時にも声をかけ、生徒の意欲や力を伸ばすことができた。また、工夫した教材づくりに熱心に取組み、生徒の興味を引くことができています。

今年度は英語暗唱大会がオンラインで開催され、芸北地区大会で上位入賞し、県大会へ2名出場を果たした。英語検定時にはインタビューなど積極的に協力し英語検定取得率の向上に尽力した。

③ 歳出決算額（ALT報酬・費用弁償・負担金） 8,427,655円

◆評価

事業の評価	必要性（町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要あるか）		
	<input checked="" type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか）		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性（事務効率化、コスト縮減しているか）		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない
	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない
備考			
外部評価	A	評価委員意見	ALTや外国語教育推進員の意欲的な活動で、実践的コミュニケーションの力が育成されていることは、大変喜ばしい。
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了		

・学校ICT整備事業

① 事業の目的・内容

令和2年度に整備された「1人1台端末・高速通信環境」の本格運用が開始となった。授業での端末の利活用を進めると共に家庭への持ち帰り、オンラインでの授業配信について取組む。

② 事業の成果と課題

学校において1人1台端末を利活用して授業を行えるよう、ICT研修を行い教職員のリテラシーの向上に努めた。また、ICT支援員と共に各インシデントに対応し、学校へ支援を行った。また、新型コロナウイルス感染症の蔓延によりオンライン授業配信の必要性も上がり、各学校において取組みを進めた。

今後は、学校での更なる1人1台端末利活用、また、端末の持ち帰り学習を進める必要がある。端末の持ち帰りに関しては、通信環境が整備されていない家庭もあることから、家庭への支援をどのように行っていくか検討が必要である。

個別最適な学びにICT技術を活用すべく、効果的なデジタル教材(AIドリル)の導入について、今後の教育データ利活用やCBTの動向もふまえ検討していく必要がある。

また、業務改善の観点からも校務支援システムの導入について検討が必要である。

③ 歳出決算額（学校ICT関連） 9,277,960円

区分	金額	備考
需用費	100,874円	PC修繕費、消耗品費
回線使用料	600,336円	インターネット、プロバイダーほか
システム保守	1,589,588円	サーバー・ネットワーク保守

		ウェブ会議システムほか
年度更新作業委託	693,000 円	上殿小休校による更新作業含む
機器賃借料	695,162 円	サーバーリース料
I C T支援員	5,599,000 円	各校巡回支援員

◆評価

事業の評価	必要性（町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要あるか）		
	<input checked="" type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか）		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性（事務効率化、コスト縮減しているか）		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない
	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）		
<input type="checkbox"/> 十分できている			
<input checked="" type="checkbox"/> できている			
<input type="checkbox"/> あまりできていない			
<input type="checkbox"/> できていない			
備考			
外部評価	B	評価委員意見	今後、学力調査のCBT化も進んでくると予想されるので、この事業をさらに推し進めることが求められる。
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了		

(3) 奨学金貸付基金運営事業

① 事業の目的・内容

高等学校、専門学校及び大学に進学を希望するが、経済的な理由から修学が困難な者に対して奨学金を貸し付ける。

奨学基金会計の状況（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

ア 収支の状況

収入の部		支出の部	
費目	金額 [円]	費目	金額 [円]
返還金	7,005,200	貸付金	4,971,000
前年度繰越金	40,192,105	次年度へ繰越	42,256,653
寄附金	0		
利子	30,348		
計	47,227,653	計	47,227,653

イ 貸付状況

区 分	貸付者数[人]			貸付額 [円]
	大・専	高	計	
3年度新規貸付	2	1	3	1,299,000
在学貸付中の者	8	1	9	3,672,000
計	10	2	12	4,971,000

ウ 奨学基金総額

区 分	金 額 [円]
貸付金	50,882,900
現 金	42,256,653
計	93,139,553

② 事業の成果と課題

進学希望者を経済的に支援することができたが、現在は収支バランスが保たれているが、今後希望者が急増すれば、基金の不足が予測される。

現在返還方法が納付書の窓口払いのみであるため、返還事務のシステム導入及び、返還方法について検討する必要がある。

◆評価

事業の 評価	必要性（町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要あるか）			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化、コスト縮減しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
備 考	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
外部評価	B	評価委員意見	本町の子どもたちが環境によって学びをあきらめな いたためにもぜひ継続していただきたい。	
事業の方 向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了			

(4) 連携教育推進事業

・連携教育推進事業

① 事業の目的・内容

小学校又は中学校間及び中学校区ごとの小小連携や小中連携といった児童・生徒・教職

員を含めた学校間の交流、教育振興を目的とする。

② 事業の成果と課題

本町で進める連携教育の目的達成のためにキャンプ、社会見学、合宿といった合同教育への講師謝礼や児童生徒の移動等に予算を充て、より効率的な推進を図ったが新型コロナウイルス感染症の蔓延のため、いくつかの行事を中止せざるを得なかった。

そういった状況の中、日本技術士会の協力を得て、町内小中学生に向けた科学アカデミー教室を2回開催し、科学的なものづくりや、プログラミングについて学ぶ機会を設けることができ、対策をとりながらT授業や文化祭を実施することができた。

・「育ちと学びをつなぐ」幼保小連携教育の推進事業

① 事業の目的・内容

本事業は、広島県が「遊び 学び 育つひろしまっ子！」推進プランに掲げた「幼保小連携事業の成果と課題携教育の推進」が行われるよう、市町の幼稚園・保育所・認定こども園の教員・保育士等と小学校教員等が協働して接続の取組を推進する県の委託事業である。

令和元年度から3年間当町が指定を受けて取組を推進することにより、幼保小連携教育の充実を図る。

② 事業の成果と課題

3年目となる今年度は、教育委員会が保育所及び認定こども園を所管することとなり、より一層、就学前から義務教育以降の育ちを一体として行うことが可能となった。本事業を受託し、各園所・学校の横のつながりと、縦のつながりを深め、子どもの「遊び」「学習」レベルでのつながりの質を高めるとともに、「育ちと学びの質」を高める教育・保育のあり方等についての教員研修を、「保小合同研修」として位置づけ、町内どこにいても質の高い保育・教育を受けることができる環境を継続して整えていく。

連携教育推進事業歳出決算額

事業名	決算額 [円]	備考
連携教育推進事業	708,024 円	
「育ちと学びをつなぐ」 幼保小連携教育の推進事業	300,000 円	県委託金 300,000 円
計	1,008,024 円	

◆評価

事業の 評価	必要性（町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要あるか）			
	<input checked="" type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化、コスト縮減しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	

備 考			
外部評価	B	評価委員意見	全国的にも珍しいと思われる教育委員会による保育所等の所管を積極的に生かし、保小の連携を進めていただきたい。小規模校の特性を見据え、今後も連携教育を進めていただきたい。
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了		

(5) 先端技術導入実証研究事業

① 事業の目的・内容

先端技術の活用によって、対話を可視化、学校内外の教員の効率的な協働を可能にすることで質と効率を両立、授業研究の実現を支援するシステムを構築し、導入活用する。

取組A：対話の可視化

取組B：時間・距離の制約を取り払った授業

取組C：授業研究ビッグデータ活用

- 学校の1人1台端末整備が進む中、個人データをクラウド上でいかにセキュアに管理するかというノウハウを得ることができ、個人情報保護とデータ共有を両立するための仕組みを構築できた。
- 教職員に対する先端技術導入の研修が進み、その成果を全国に向けて複数の媒体により発信ができた。
- 先端技術の活用により、学校の授業研究の量・質が向上し、特に若手教員の授業力の向上が見られ、加計高等学校と共に、新しい学び全国大会で報告することができた。
- 一人一台端末整備で役割を終えたパソコンルームを、「アクティブ・ラーニングルーム（スタジオ）」としてし、対話による遠隔授業研究の配信を実現できた。
- 「働き方改革」と両立するため、オンデマンド授業研究を実現する仕組みを構築しつつある。次年度の試行により実装していきたい。
- GIGAスクール校内LAN整備後の学校における通信整備に係る現状と課題が整理できつつある。引き続き、通信環境の整備に努めたい。
- 卒業生の学習に関する意識を調査について試行できた。これに基づき、次年度から、調査を実施していく。

② 金額

事業費総額 11,295,046 円 先端技術導入実証研究事業 委託金

区 分	金 額	備 考
報奨金	463,670 円	講師謝金、旅費
旅費	68,740 円	先進地視察旅費
消耗品費	510,926 円	ホワイトボード、WEBカメラ ほか
通信運搬費	1,290 円	郵送料
手数料	83,600 円	ALルームカメラ設置手数料

委託料	8,431,240円	システム開発費 ほか
使用料	1,735,580円	I B M Cloud Platform、A L ルーム 機材等レンタル使用料

◆評価

事業の評価	必要性（町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要あるか）		
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか）		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性（事務効率化、コスト縮減しているか）		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない
	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない
備考			
外部評価	B	評価委員意見	本町の取組が国の教育に貢献できるよい機会と考える。質の高い授業研究と教職員の負担軽減を期待。職員の職能成長と子供たちの確かな力につなげてほしい。
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了		

4 小・中学校費

(1) 小・中学校管理事業

- ・スクールバス運行（使用料及び賃借料）

遠距離通学に係る小学校便を6路線、中学校便は5路線で運行し、児童生徒の安全な登下校を確保した。

小学校費

学校名	運行地域	金額[円]	備考
加計小・加計中	修道・安野	11,036,674	小・中学生が一緒に登校
	坪野・津浪	7,112,259	
	殿賀	6,349,959	
	猪山	928,650	
戸河内小	小板・松原	874,060	
	寺領	347,730	
合計		26,649,332	

中学校費

学校名	運行地域	金額[円]	備考
加計中	修道・安野	1,468,126	中学校のみ利用及び週末部活便
	坪野・津浪	1,225,488	
	殿賀	1,114,168	

学校名	運行地域	金額[円]	備考
安芸太田中	寺領・土居・上殿	7,252,135	
	小板・松原・遊谷・上本郷	8,716,295	
合計		19,776,212	

※統合に伴う通学経費の補助金 : 国庫補助 3,387,000 円・県費補助 677,000 円

◆評価

事業の 評価	必要性（町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要あるか）		
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか）		
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性（事務効率化、コスト縮減しているか）		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない
	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない
備考			
外部評価	B	評価委員意見	今後も児童生徒の安全な登下校を保障していただきたい。
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了		

・小・中学校管理・運営事業

① 事業の目的・内容

児童生徒が安心・安全な教育活動を行うために、施設の保守・整備・修繕を行う。

② 事業の成果

ア 施設の修繕状況（修繕料）

小学校 688,600 円

加計小学校 スロープ屋根修繕

筒賀小学校 屋内消火栓ホース取替修繕

筒賀小学校 職員室エアコン取替修繕として

戸河内小学校 掲示板補修修繕

中学校 479,600 円

安芸太田中 職員室及び校長室エアコン取替修繕費

安芸太田中 緞帳調査及び修理

安芸太田中 フェンス修繕

イ 管理、点検等業務委託（委託料）

小学校 4,333,200 円

自家用電気工作物保安管理業務・消防設備点検

小学校施設清掃業務
 加計小学校植栽整備等業務委託
 中学校 2,687,270円
 自家用電気工作物保安管理業務・消防設備点検
 小学校施設清掃業務

ウ 工事請負費

小学校 3,179,000円
 加計小学校体育館、筒賀小学校校舎1F、2F照明器具修繕工事
 中学校 19,008,000円
 安芸太田中学校 照明器具修繕工事
 加計中学校 校舎棟屋根改修工事

◆評価

事業の評価	必要性（町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要あるか）			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化、コスト縮減しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
備考				
外部評価	B	評価委員意見	児童生徒、職員の安全と適切な環境整備のため、状況に応じた対応を行っていただきたい。	
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了			

5 教育振興費

(1) 小学校教育振興事業・中学校教育振興事業

・遠距離通学費補助金

(令和3年4月～令和4年3月)

区分	学校名	対象者数[人]	補助額[円]
中学校	加計中学校	7	34,300
	安芸太田中学校	12	67,200
合計(a)		19	101,500

※自転車通学者も含む

・特色ある学校づくり推進事業補助金

① 事業の目的・内容

各学校が独自性のある学校づくり推進事業の展開が実施できるように活動費補助を行い、もみじプラン21を基本とした特色のある活動を推進した。

小学校費

学 校 名	金額[円]	事業テーマ
加計小学校	52,380	気づいて 考えて やってみる 児童を育成 (マーチングバンド合宿指導講師招聘、バンドフェス参加費用等)
筒賀小学校	66,200	ふるさとのよさに学び、豊かな感性と実践力を持つ児童の育成 (けん玉指導、ライフル教室、陶芸教室等)
上殿小学校	76,000	魅力ある上殿小学校づくり (主体的な学びの育成、豊かな感性の育成) (農業体験活動、和紙づくり、山ゆり訪問諸経費等)
戸河内小学校	79,160	地球・世界的規模の視野を持ち、世界や地域社会に貢献する人づくりをめざす (和太鼓演奏者招聘、演奏指導、スキー教室講師代等)
合 計(b)	273,740	

中学校費

学 校 名	金 額[円]	事業テーマ
加計中学校	177,980	高い志を持ち、地域に貢献し、主体的に生きる生徒の育成 (マナー講座、キャリア教育、Nコン合唱指導謝金等)
安芸太田 中学校	40,230	未来を創る人づくり 学びを生き方につなぐ教育の創造 (マナー講座、キャリア教育、地域活動等)
合 計(c)	218,210	

② 事業の成果と課題

特色ある学校づくり補助金による外部講師の招聘や地域の方の協力により、各学校とも学校長の経営方針に基づいた特色ある学校づくりに取り組んだが、新型コロナウイルス感染症の蔓延により計画した事業が全て行えなかった学校もあった。

・その他補助金

① 事業の目的・内容

町内全小中学校が行う、合同修学旅行等の費用へ補助を行った。

また、平成29年度から行っている英語検定料補助を継続して実施し、全生徒に英語検定に挑戦する機会を設けた。

名 称		金額[円]	備 考
小学校	小学校修学旅行補助金 (山口方面)	392,666	@12,000×32人 ほか
小学校計(d)		392,666	
中学校	中学校修学旅行補助金 (広島県内)	0	

	英語検定料補助金	299,880	加計中 52名分 安芸太田中 43名分
	第53回広島県中学校スキー選手権大会 第43回中国中学校スキー選手権大会 参加補助金(安芸太田中)	42,380	大会参加者各1名分
	中学校計(e)	342,260	
	小学校費補助金合計(b)+(d)	666,406	
	中学校費補助金合計(a)+(c)+(e)	661,970	

② 事業の成果

町内小学校は、コロナ禍においても合同修学旅行を実施することができ、制限のある中、学校間の児童生徒の交流を深め、団体行動による社会性の育成と同世代同士のコミュニケーション育成につながった。中学校の合同修学旅行については、3月に実施予定であったが、コロナ禍により延期をし、次年度の4月に実施することとした。

英語検定料補助により、全生徒に英語検定に挑戦する機会を設けることができた。受験した級を取得できた生徒は90.5%（前年度86.5%）で向上した。また、中学3年卒業時の英検3級取得率は46.9%（前年度50.0%）で、国の目標値50%に達することはできなかった。

◆評価

事業の評価	必要性（町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか）			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか）			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化、コスト縮減しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> できている	<input checked="" type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
備考	コロナ禍により、計画通りに事業ができなかったものもあったが、可能な範囲で実施をした。			
外部評価	B	評価委員意見	特色ある取組みがより一層、地域に見えると良いのではないかと、アプローチを期待したい。	
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了			

(2) 小学校就学援助事業・中学校就学援助事業

① 事業の目的・内容

経済的理由によって就学困難と認められる学齢児童生徒の保護者に対して、国の制度に則り、学用品や給食費など必要な援助を行った。

② 事業の成果

援助が必要な児童生徒に対して、経済的負担を軽減することができた。

③ 歳出決算額

準要保護児童生徒就学援助費に係る支給状況 (令和3年4月～令和4年3月)

区 分	対象者数			支 給 額 [円]			備 考
	小	中	計	小学校	中学校	計	
学用品費等	33	26	59	436,590	607,123	1,043,713	
修学旅行費	5	0	5	80,860	0	80,860	
校外活動費	0	0	0	0	0	0	
新入学学用品費	4	4	8	154,100	260,800	414,900	
給 食 費	32	27	59	1,583,256	1,543,199	3,126,455	
医 療 費	8	0	8	24,490	0	24,490	
P T A 会 費	28	20	48	64,033	78,200	142,233	
新入学用品入学前支給	4	4	8	204,240	240,000	444,240	
計(f)				2,547,569	2,729,322	5,276,891	

※就学援助対象者の割合 小学校 15%、中学校 28%

特別支援就学奨励費補助金に係る支給状況 (令和3年4月～令和4年3月)

区 分	対象者数			支 給 額 [円]			備 考
	小	中	計	小学校	中学校	計	
学用品費等	2	3	5	13,900	62,500	76,400	
修学旅行費	0	0	0	0	0	0	
校外活動費等	0	2	2	0	3,480	3,480	国庫補助額
新入学学用品費	0	0	0	0	0	0	小・中学校
給 食 費	2	3	5	51,282	135,033	186,315	165.000円
医 療 費	0	2	2	0	2,030	2,030	
計(g)				65,182	203,043	268,225	
扶助費合計(f)+(g)				2,612,751	2,932,365	5,545,116	

◆評価

事業の 評価	必要性 (町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要あるか)			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性 (施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性 (事務効率化、コスト縮減しているか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度 (計画どおりに目標を達成できたか)			
<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	

備 考			
外部評価	A	評価委員意見	教育環境を整えるためにも大切な事業である。今後も援助の必要な児童生徒の保護者に対して、適切な援助を行っていただきたい。
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了		

(3) 「山・海・島」体験活動推進事業

① 事業の目的・内容

日常とは異なる環境での生活を体験し、児童の自立心や主体性などを育てるとともに体験先の地域の方々や他校の児童との交流を通して、コミュニケーション能力など人間関係を形成する力を育てることにより、児童の豊かな心を育成することを目的とした活動であり、例年江島での合宿を計画しているが、コロナ禍のため町内の温井ダムでカヤックの体験を実施した。

② 事業の成果と課題

ア 成果

町内で行うことができるアトラクティブを体験し、町内の自然や取組みを再発見することができた。また、体験の実施前と後に Zoom によりオンライン合同授業を行い、コロナ禍においても他校の児童と交流をすることができた。

イ 課題

今後も、本事業を行う中で育てたい児童の資質・能力を明確に位置づけるとともに、そのための活動の精査、振り返りの場の充実などを図る必要がある。次年度は、居住地である中山間地域とは違った自然環境における体験を行うため、例年通り江田島青少年の家での合宿とし、全小学校5年生による体験活動を計画する。

③ 歳出決算額 208,000 円

6 保健体育費(共同調理場費)

(1) 加計共同調理場運営事業・筒賀共同調理場運営事業

① 事業の目的・内容

2つの学校給食共同調理場から、小学校、中学校及び保育所、認定こども園へ、安心して安全な完全給食を提供する。

② 事業の成果と課題

職員の衛生面の指導を徹底しながら、産直市や農家と連携し地元の食材を積極的に給食に取り入れた豊かな献立作りを行っている。

筒賀調理場の改装期間中はデリバリー給食(弁当)で対応し、11月末からは給食を再開し、筒賀保育所の給食も提供している。加計調理場では正規職員がいなくなり、安定した給食の提供を継続して行うために人材の確保と育成が課題となっている。

③ 歳出決算額

加計共同調理場運営事業 41,764,636 円

筒賀共同調理場運営事業 19,475,892 円

加計学校給食共同調理場 (令和3年5月1日現在、単位：人)

職 員	場長 1人、栄養士 1人、調理員 正職2人、臨時4人(2時間勤務1人)、 運転手(臨時)4人 計13人			
学 校 給 食 (職員数は臨時・非常勤含む)				
小学校	児童数	職員数	合 計	<ul style="list-style-type: none"> ・児童数 142人 ・生徒数 52人 ・職員数 39人 <li style="text-align: right;">計 233人
戸河内	41	8	49	
加 計	101	14	115	
中学校	生徒数	職員数	合 計	
加 計	52	17	69	
保育所・認定こども園 (職員数は臨時・非常勤含む)				
保育所	3歳児未満	3歳児以上	職員数	<ul style="list-style-type: none"> ・3歳児未満 15人 ・3歳児以上 49人 ・職員数 22人 <li style="text-align: right;">計 86人
修 道	4	9	6	
認定こども園	3歳児未満	3歳児以上	職員数	
あさひ	11	40	16	

筒賀学校給食共同調理場 (令和3年5月1日現在、単位：人)

職 員	場長(兼任)1人、栄養士 1人(兼任：筒賀小学校栄養教諭) 調理員 正職2人、臨時2人(半日勤務1人)、運転手(臨時)1人 計7人			
学 校 給 食 (職員は臨時・非常勤含む)				
小学校	児童数	職員数	合 計	<ul style="list-style-type: none"> ・児童数 74人 ・生徒数 44人 ・職員数 32人
筒 賀	50	10	60	
上 殿	24	7	31	

中学校	生徒数	職員数	合計	計 150人
安芸太田	44	15	59	

学校給食費徴収状況

	年度	調定額 [円]	収入額 [円]	収入未済額 [円]	未納数 (件)
現年度分	R3年度	23,034,043	23,012,735	21,308	5
過年度分	H27年度	9,800	0	9,800	2
	R2年度	101,921	101,921	0	0
	計	111,721	101,921	9,800	2
合計		23,145,764	23,114,656	31,108	7

収納率 現年度分 99.90% (対前年比 0.43%増)

過年度分 91.22% (対前年比 1.41%減)

◆評価

事業 の 評価	必要性 (町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要あるか)			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性 (施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性 (事務効率化、コスト縮減しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> できている	<input checked="" type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度 (計画どおりに目標を達成できたか)			
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
備考				
外部評価	B	評価委員意見	地元の食材を取り入れて、「ふるさとの味」を感じられる給食をいただける子どもたちは幸せだと考える。食材の安定供給などでのご苦労はあると思うが、今後も続けて いただきたい。	
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了			

7 社会教育費

(1) 社会教育総務管理事業

① 事業の目的・内容

社会教育の推進を図るため、各種団体への負担金・補助金を支払う。

社会教育関係負担金の内訳

名 称	金額[円]
広島県社会教育委員連絡協議会会費	24,000
けんみん文化祭ひろしま'21 開催負担金	77,513
広島県公民館連合会負担金	76,900
広島県公民館大会参加負担金	0
合 計	148,515

社会教育関係補助金の内訳

名 称	金額[円]
安芸太田町女性連合会事業補助金	1,170,000
安芸太田町子ども会連合会事業補助金	250,000
安芸太田町PTA 連合会事業補助金	150,000
青少年育成安芸太田町民会議事業補助金	468,000
安芸太田町文化団体連合会事業補助金	0
合 計	2,510,000

② 事業の成果と課題

各種団体への活動を支援したがコロナ禍で活動を自粛する団体もあった。各団体とも会員数が減少しており、今後の団体の持続性について課題がある。

③ 歳出決算額 5,508,054 円

◆評価

事業 の 評 価	必要性（町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要あるか）			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化、コスト縮減しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
備 考				
外部評価	B	評価委員意見	少子高齢化が進む中で、世代間の交流をぜひ図ってもらいたい。各団体の会員数の減少は、そのまま「必要性」にかかわってくるのではないかと考える。	

事業の方 向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する
	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了

(2) 社会教育施設管理事業

① 事業の目的・内容

社会教育施設の運営維持のため、以下の施設について保守・整備・修繕を行う。

施設名	金額[円]	備考
戸河内ふれあいセンター	5,528,259	賃金・需用費・委託料 ほか
筒賀公民館	444,579	光熱水費・通信運搬費 ほか
筒賀公民館東区分館	92,811	消耗品・電話料・施設管理委託料 ほか
温井文化センター	238,245	施設管理・浄化槽管理委託 ほか
香南文化センター	351,813	指定管理・建物共済

② 事業の成果と課題

施設の管理について、各施設とも老朽化による修繕の増加が今後とも予想され、不具合箇所を適切な補修を行なうことで対応している。

③ 歳出決算額 7,861,170 円

(3) 文化財保護管理事業

① 事業の目的・内容

指定文化財を含め貴重な財産である文化財の保存維持を図る。

種 別	件 数
国指定	2
国登録	2
県指定	14
町指定	37

② 事業の成果と課題

「広島県名勝吉水園金屋子神社ほか保存修理事業」

このたび、吉水園内の①「金屋子神社」、②「薬師堂」、③「表門・小門」の3箇所の保存修理を行った。この3箇所はともに経年劣化により建物全体の劣化や腐朽、破損や欠損等が見受けられ、傷みが激しくならない状況での修理の実施が最も効果的であり、文化財保護・保存の観点から時期を逃すことのできないという判断のもと改修を実施した。 ※総事業費 2,430,670 円（うち県1,215,000 円 町補助金 810,000 円）

近年、文化財に対する関心が高まっている。これまで、文化財の考え方は大きく二つに分けられた。単に文化財を限られた人々で守り、価値を損なうことなく後世に継承していく「保存」、そして地域においてより多くの人々に対して公開し、鑑賞してもらい、親しんでもらう「活用」である。これからは、文化財の本来的な価値の継承に配慮しつつ、地域ニーズに沿った形での積極的な「活用」が新たに組み込まれるとともに今後の課題となる。

③ 歳出決算額 1,010,240円

◆評価

事業の評価	必要性（町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要あるか）			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化、コスト縮減しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
備考				
外部評価	B	評価委員意見	文化財の積極的な公開（観賞）を推し進めていただきたい。地域住民だけでなく、広く県内外からの鑑賞者が集まるようなPRを工夫してほしい。	
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了			

(4) 生涯学習推進事業

当事業の歳出決算額は1,050,561円である。以下に主要な項目について述べる。

・地域生涯学習センター（小学校廃校地域対象）

① 事業の目的・内容

廃校となった小学校区を対象に地域生涯学習センターを開設した。

各地域の団体と連携し、講座や教室、スポーツ大会の開催、地域情報の提供等を実施し地域の活性化を促す。

② 事業の成果と課題

講座や教室、スポーツ大会の開催等で地域の活性化が図られた。

③ 事業額 255,600円

センター名	金額[円]	備考
二郷地域生涯学習センター	255,600	報酬
合計	255,600	

・安芸太田町成人式（令和2年度分）

① 事業の目的・内容

新成人の門出を祝福するとともに、大人の仲間入りをしたことによる義務と責任を再確認してもらうための事業として実施している。

開催日時 【延期分】 令和3年8月15日（日） 11:30～

開催場所 川・森・文化・交流センター やまびこホール

対象者 平成12年4月2日～平成13年4月1日生まれ
 対象人数 男性 25人 女性 36人 計 61人
 【出席者】 40名 出席率65.5%
 内容 式典、記念行事及び戸河内ウキスキー
 記念品 「ウキスキーグラス（風炎窯）」

② 事業の成果と課題

平成29年度成人式でも実施し好評だった「未来へつなぐ“戸河内ウキスキー”」を今回も企画。延期した令和2年度分を実施。だが、全国的な新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、令和3年度分は令和4年8月延期となった。

また、当日、成人式への参加を見合わせをする方へに観覧できるよう、ライブ配信を実施した。

③ 事業額 632,160円

◆評価

事業の評価	必要性（町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要あるか）			
	<input checked="" type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか）			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化、コスト縮減しているか）			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
備考	令和4年1月開催分（令和3年度分）は、令和4年8月へ延期。			
外部評価	A	評価委員意見	ふるさと安芸太田を実感できる行事として、温かみのある内容を継続して欲しい。	
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了			

・公民館講座（そろばん教室）

① 事業の目的・内容

そろばん教室を通して、現代の子どもたちに低下しがちな集中力、忍耐力、積極性を養うことを目的に、隔月1回の検定試験を実施し、昇級目指して努力している。

日時 毎週火曜日 午後6時から7時まで

講師 社団法人 全国珠算教育連盟 広島県支部 栗栖 貞文 さん

場所 川・森・文化・交流センター

受講生 18名

② 事業の成果と課題

毎月検定を行うことにより、よりレベルを上げて行くというチャレンジ精神が養われている。

③ 事業額

歳入（受講料） 203,500 円

歳出（講師謝礼） 196,000 円 @7,000 円/回×28 回

・カルチャー教室

① 事業の目的・内容

都市部では様々なカルチャー講座が実施され、意欲のある人が参加している。しかし安芸太田町ではたとえ意欲がある人がいても、交通手段等の事情により受講することが難しい。そこで町が講師を招へいし、町民に対し安価で受講できるカルチャー講座を開講することにより、町民の文化に対する意識向上や生きがいがづくり、日常の充実を図る。

② 事業の成果と課題

～シニア世代&初心者向け「スマホ教室」～

スマートフォンやタブレットといったデジタル機器の活用不安のある方の解消に向けて、町内在住者を対象（主にシニア世代・初心者）にスマホ講座を開催。

日 時 令和3年11月29日（月）

午前の部 9:30～11:30 午後の部 13:30～15:30

会 場 川・森・文化・交流センター やまびこホール

参加者数 総数28名

講 師 広島県デジタルトランスフォーメーション推進チーム 2名

※全体平均年齢 74.8歳 ※最高年齢 88歳（男性）

参加費 無料

新型コロナウイルス感染症拡大により令和3年度は講座開講をほとんど見送ったが、例年、スマートフォン教室開催の声が多く、シニア世代&初心者向け「スマホ教室」を開催した。

『スマホを手に入れても操作方法がわからず、電話通話とメールのやりとりしかやっていなかった。この教室で、スマホが便利だということがわかった。』『操作方法を誰かに聞きたくても携帯ショップも遠い。スマホ教室へ参加してよかった。』といった感想の声が参加者からあった。

◆評価

事業の評価	必要性（町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要あるか）			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化、コスト縮減しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> できている	<input checked="" type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	

備 考			
外部評価	B	評価委員意見	住民のニーズに答える中身に工夫する必要がある。 地域の人材を活用した中身も考えてはどうか。
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了		

・芸術文化推進事業

① 事業の目的・内容

質の高い芸術文化に触れてもらうことにより、町民の芸術文化感覚を養う。

また、文化団体連合会の事務局を教育委員会に置き、町民の芸術文化活動を発表する場を設けることにより、町民の日々の生きがいを支援する。

② 事業の成果と課題

全国的な新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を受け、町文化団体連合会は活動を自粛。そのため、「安芸太田町文化芸能フェスティバル」は令和2年度に引き続き中止となった。

また、けんみん文化祭も軒並み中止となるなど、各種団体の活動も自粛・縮小となった。高齢化等により加盟団体数も微減しており、各種団体の活性化を図ることが今後の課題である。

◆評価

事業の評価	必要性（町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要あるか）			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化、コスト縮減しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> できている	<input checked="" type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
備 考				
外部評価	B	評価委員意見	コロナ禍での推進の工夫が必要であったのではない か。児童生徒及び町民に本物の芸術に触れる場等も工 夫できないか。	
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了			

・人権関係

① 事業の目的・内容

ア 人権フェスタの開催

令和3年度は町・教育委員会の主催で開催した。各団体・機関が実施している人権イベントの連携と交流のネットワークを図り、お互いの活動を紹介し合い、情報を共有し、人的な交流を深め合うことを大切にするため、平成20年度から実施している。

日時 令和3年12月4日(土) 13:30~15:20

場所 川・森・文化・交流センター やまびこホール

講演会 講師：白砂 匠庸さん(東京パラリンピック大会出場)

演題：「挑戦！！自分の障害を力に！！」

イ 展示：町内小学6年生の人権標語展示

(人権標語は町内小・中・高等学校、町内企業等所で展示)

② 事業の成果と課題

人権週間・障害者週間と合わせ、令和3年度で14回目となる「人権フェスタ」を開催した。全国的な新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を受け、人権フェスタ関連事業は取りやめとなった。

③ 事業額 163,244円

◆評価

事業の評価	必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度(計画どおりに目標を達成できたか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
備考				
外部評価	B	評価委員意見	人権フェスタや6年生による人権標語作成の取組は、評価できる。白砂さんによる講演も、いろいろなことに挑戦しようというファイトに元気をいただいた。	
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了			

・子ども会活動

① 事業の目的・内容

連合会の事務局を教育委員会内に置き、町子ども会連合会としての主催活動を展開し、情報の交換・共有を図る。

② 事業の成果と課題

様々な事業を行う中で地域の子ども会活動を支援し、子どもたちに楽しむ場を提供した。子どもの減少により、子ども会を組織できなくなる地域が増えているが、町子ども会連合会を受け皿にして、町子ども会連合会の主催活動には全ての子どもが参加できる体制をとっている。ただし、全国的な新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を受け、上関町子ども会育成連絡協議会との「漁村交流会」、「親子クリーンハイキング」は中止した。

ア 安芸太田町子ども会連合会活動の促進・支援

総会 年1回開催（書面決議）

役員会 年5回開催（中止）

イ 山村交流会

趣旨 海沿いに面する地域に住む町外の子どもたち（山口県熊毛郡上関町）との交流を図るとともに、お互いの子ども会活動の情報を交換しあう中で、更なる活動の活性化を進める。

主催 安芸太田町子ども会連合会

※全国的な新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を受け中止。

ウ 親子クリーンハイキング

趣旨 親子でハイキングをすることにより親子の絆を深めるとともに、ハイキングの際、ゴミを拾うなど美化活動を行なうことにより環境保全の意識、ボランティア精神の向上を高める。

主催 安芸太田町子ども会連合会

※全国的な新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を受け中止。

・PTA活動

① 事業の目的・内容

安芸太田町PTA連合会（以下町P連とする）の事務局を教育委員会内に置き、町P連としての主催活動を促進し情報交換・共有を図るとともに、各学校単位PTA（以下「単P」とする）の活動を支援する。

② 事業の成果と課題

単Pの支援及び町P連会議を行うことにより、単P間の情報の共有ができPTA全体としての意向の方向付けができた。ただし、全国的な新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を受け、県P連事業や町P主催事業「四季の教室」は中止となった。

ア 総会 年1回開催（5月14日）

理事会 年2回開催（全て中止）

県PTA全小・中学校PTA会長研修会参加（中止）

県PTA研究大会参加（中止）

全小・中学校母親代表研修会（オンライン参加）

・青少年育成町民会議活動

① 事業の目的・内容

町民会議の事務局を教育委員会内に置き、町民会議として主催活動を促進するとともに、情報交換・共有を図る。

② 事業の成果と課題

各種事業を行うことにより関係団体間の連携・情報交換ができ、地域全体で青少年を育んで行くという大きなつながりができた。

ア 青少年育成安芸太田町民会議活動の促進・支援

総会 年1回開催（6月24日）書面決議

イ 立志式

趣旨 成長過程にある安芸太田町内中学校2年生を激励するとともに、生徒自らが自立心をもって生きることを促し、心豊かでたくましく生きる生徒の育成を図る。

主催 青少年育成安芸太田町民会議

※全国的な新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を受け、令和3年度へ延期。

【延期分】第12回立志式 オンライン開催

日時 令和3年7月13日（火）

講師 会社員 清胤 慶英さん

対象 町内中学3年生34人

ウ 第13回あきおたゲームハイキング

趣旨 町内の自然・文化・歴史を訪ね、地域の方から話を聴き、地域を知るとともに、郷土に誇りを持ち郷土を愛する心を育む。また、多くの仲間との交流を通じて、協力することの大切さを学ぶとともに、友情の和を広げ世代の枠を超えた交流の中で、お互いを理解しあう。

主催 青少年育成安芸太田町民会議

※全国的な新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を受け中止。

◆評価

事業の 評価	必要性（町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要あるか）			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化、コスト縮減しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
備考	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> できている	<input checked="" type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
外部評価	B	評価委員意見	大人も子ども共にともにリーダー育成研修会が必要ではないか。新しいことへのチャレンジを。交流のチャンスづくりを。	

事業の方 向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了
------------	---

(5) 図書館運営事業

① 事業の目的・内容

・図書館協議会開催

新型コロナウイルス感染症感染拡大を受け、開催見送りとなった。

・図書購入状況

	区分	3年度購入	金額 [円]	備考 (寄贈含む)
本館	蔵書	574冊	887,538	総冊数 45,433冊
	雑誌	19種類	141,221	総冊数 412冊
筒賀分室	蔵書	128冊	187,246	総冊数 9,955冊
	雑誌	4種類	27,628	総冊数 297冊
戸河内分室	蔵書	187冊	268,985	総冊数 14,404冊
	雑誌	9種類	77,295	総冊数 405冊
大型絵本・紙芝居		8点	35,530	蔵書登録
視聴覚		3点	0	総数 826点

・図書館利用状況

ア 開館日数 [本館] 260日, [筒賀分室] 260日, [戸河内分室] 261日

イ 貸出し冊数

区分		本館	筒賀分室	戸河内分室	移動図書館
貸出し冊数	一般書	6,089冊	1,729冊	3,239冊	1,012冊
	児童書	10,801冊	2,549冊	2,706冊	1,493冊
	雑誌	613冊	62冊	407冊	16冊
	視聴覚	1,056点	56点	57点	0点
	その他 (外国語図書)	26冊	0冊	0冊	0冊
	計	18,585冊	4,396冊	6,409冊	2,521冊

ウ 移動図書館やまびこ号

・月1回 火・水・木・金曜日に町内22箇所を巡回

・利用状況 利用者数 393人

エ 令和3年度は司書2名体制で巡回活動を行った。

・小学校4校での絵本の読み聞かせ、図書委員会活動支援など

・保育園・児童センター4か所 絵本の読み聞かせ

・読書会の定着

② 事業の成果と課題

図書館での読書環境改善や、図書館利用の促進と子どもの読書を推進する取り組みとして、図書館外へ本を送り出す「移動図書館やまびこ号運行」や「司書による巡回活動」、

「県立図書互助・教弘文庫」、「おひさま文庫（旧学校図書）」活動を定例行事等と合わせて展開し、多くの本に出会う機会と情報を提供することで利用増加を図ったが、令和3年度も新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け図書館事業の自粛等により従来の活動ができなかったが、特に30代～50代の利用者が減少した。背景としては、社会活動が再開されステイホームによる余暇時間を活用した読書離れがあるものと推測される。

【参考】実績比較（3館合計）

令和2年度 利用者数 5,977名 貸出冊数 34,692冊

令和3年度 利用者数 5,606名 貸出冊数 31,911冊

③ 歳出決算額 18,678,769円

◆評価

事業の評価	必要性（町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要あるか）			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化、コスト縮減しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
備考				
外部評価	B	評価委員意見	体制的には図書館活動は充実していると思うが、コロナ禍により事業実施が難しい面があったと思われる。今後も継続していただきたい。	
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了			

(6) 放課後子ども教室推進事業

① 事業の目的・内容

放課後や長期休業日に小学校の余裕教室等を活用して、子どもたちの安全・安心な活動拠点（居場所）を設ける。

地域の方々の参画を得て、子どもたちと共に勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の取り組みを実施することにより、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。

だが、新型コロナウイルス感染症感染拡大を受け、毎年実施している地域交流等は令和2年度と同様に中止となった。

区分		事業の実績内容
1	子ども教室名	戸河内小学校放課後子ども教室
2	当該小学校区名	戸河内小学校区

3	実施場所	安芸太田町立戸河内小学校	
4	実施日数	年間： 239 日	平日 205 日
			土曜日及び長期休 34 日
5	参加対象者(1日当たり)	対象：小学1年生～小学6年生	平均人数： 15 人(平日)
区 分		事 業 の 実 績 内 容	
1	子ども教室名	修道放課後子ども教室	
2	当該小学校区名	旧修道小学校区	
3	実施場所	修道活性化センター	
4	実施日数	年間： 249 日	平日 204 日
			土曜日及び長期休 55 日
5	参加対象者(1日当たり)	対象：小学1年生～小学6年生	人数： 9 人(平日)

② 事業の成果と課題

小学校の空き教室等を利用し、安全安心な居場所として学習や交流事業等を実施。修道活性化センター、戸河内小学校で実施。

児童の放課後の居場所として定着し、家庭支援事業として大きな役割を果たしている。毎年、地域や各種団体の協力のもと交流事業等を実施していたが、令和3年度も令和2年度と引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

補助事業	補助事業対象経費総額	補助金額 (2/3)
放課後子ども教室推進事業	3,175,724 円	2,116,000 円

③ 歳出決算額 3,606,532 円

◆評価

事業の 評価	必要性（町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要あるか）			
	<input checked="" type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか）			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化、コスト縮減しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
備 考				
外部評価	B	評価委員意見	児童の放課後の居場所として定着し、働く保護者の助けになっていることは大変ありがたいことだ。学習や交流事業を実施されているということだが「遊び」の不足している子どもたちのために、しっかり身体を動かして遊ぶ体験をさせていただきたい。	
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了			

8 保健体育費(共同調理場費を除く)

(1) 保健体育総務管理事業

① 事業の目的・内容

- ア スポーツ推進委員報酬 13人 442,000円
- イ 中国地区スポーツ推進委員研修会(鳥取県米子市) 中止
- ウ 令和2年度広島県スポーツ推進委員研究大会(呉市) 中止
- エ 第62回 全国スポーツ推進委員研究協議会(佐賀県佐賀市) 中止
- オ 広島県女性スポーツ推進委員研修会(三次市) 開催
- カ 安芸太田町体育協会総会(書面決議)
- キ メキシコオリンピックチーム事前合宿受入・交流事業
- ク 全国高等学校ライフル射撃競技選手権大会

※上記イ～エ、全国的な新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を受け中止。

② 事業の成果と課題

スポーツ推進委員に対し、スキルアップ及び情報共有を図るため、積極的に研修会に参加できるよう調整する。

「メキシコオリンピックチーム事前合宿受入・交流事業」の事前合宿は残念ながら中止となった。だが、事後交流ということで、筒賀小学校5・6年生とメキシコ射撃チーム選手2名がオンラインで交流を図った。

「全国高等学校ライフル射撃競技選手権大会」は開閉会式を実施なしといった事業の簡素化しながら新型コロナ感染症対策を講じながら開催された。

スポーツを通じて、地域や住民が生きがいや生涯スポーツに取り組めるようなメニューができるよう関係機関と図っていききたい。

③ 歳出決算額 5,085,100円

◆評価

事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要あるか)			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度(計画どおりに目標を達成できたか)			
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
備考				
外部評価	B	評価委員意見	維持管理や修繕に多額の経費が必要と思いますが、計画的に修繕を進めてもらいたい。	

事業の方 向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了
------------	---

(2) 体育施設管理事業

① 事業の目的・内容

町内の体育施設の維持管理、修繕等を行う。

② 事業の成果と課題

近年すべての体育施設は老朽化しており、年々修繕費等の経費が増大している。

③ 歳出決算額 20,765,938 円

主な歳出の内訳

施設	設置場所	支出額[円]	備考
体育施設	加計体育館	7,033,000	指定管理委託料
	修道活性化センター	2,126,045	管理委託料 保守点検・維持管理等
	津浪体育館 (津浪スポーツ広場も含む)	197,073	AED レンタル 管理委託料、水道等
スポーツ広場	見入ヶ崎スポーツ広場	62,128	管理委託料、水道等
	温井スポーツ広場	98,840	管理委託料、電気代
	松原スポーツ広場	30,000	管理委託料
	至誠スポーツ広場	12,481	電気代
	筒賀ふれあいスポーツ広場	225,359	電気・水道代、管理委託料等
	筒賀多目的スポーツ広場	113,900	電気代等
	修道スポーツ広場	52,028	電気代、管理委託料等
	坂根スポーツ広場	592,439	管理委託料、保守点検、修繕等
	殿賀スポーツ広場	127,601	管理委託料、電気代等
	杉の泊スポーツ広場	30,000	管理委託料
	筒賀ゲートボール場	3,349	電気代
学校体育施設	加計小学校体育館	96,971	管理委託料、夜間照明
	筒賀小学校	177,307	夜間照明
	上殿小学校	31,740	夜間照明
	加計中学校	109,884	夜間照明
その他	旧戸河内中学校	109,884	夜間照明
	向光石広場	30,000	管理委託料
町内プール	加計・戸河内・筒賀・坂原・井仁・松原・猪山・上殿・寺領・平見谷・修道・津浪	9,505,909	賃金、管理委託料、保守点検・維持管理・水質検査、AED レンタル等

合 計	20,765,938
-----	------------

ア 加計体育館利用状況

年間利用状況

利用日数[日]	利用件数[件]	利用者延べ人数[人]
227	406	6,853

種目別利用状況

種 目	利用団体 [団体]	利用件数 [件]	利用者延べ人数 [人]	利用料金 [円]
バレーボール (部活含)	12	180	3,135	147,840
ビーチボールバレー	1	60	932	52,800
バドミントン	3	45	306	50,600
卓球 (部活含)	8	46	537	27,010
テニス (部活)	2	19	198	0
フットサル	4	24	364	72,189
バスケットボール	0	1	9	1,000
その他	11	29	1,462	236,555
合 計	41	406	6,853	572,958

イ 戸河内ふれあいセンター利用状況

年間利用状況

メイプルホール			アリーナ		
利用日数 [日]	利用件数 [件]	利用者延べ 人数[人]	利用日数 [日]	利用件数 [件]	利用者延べ 人数[人]
49	53	2,453	126	211	2,324

種目別利用状況

種 目	利用団体 [団体]	利用件数 [件]	利用者延べ人数 [人]	利用料金 [円]
バレーボール	7	20	145	37,750
ビーチボールバレー	1	19	117	11,000
ソフトバレーボール	1	34	244	18,500
バドミントン	3	4	71	23,580
卓 球	3	37	293	19,000
剣 道	4	37	451	25,190
その他	21	60	1,003	100,530
小 計	40	211	2,324	237,550
メイプルホール	25	53	2,453	416,545
(冷暖房)				13,430
楽屋	0	0	5	0
(冷暖房)				0

ピアノ、音響等				12,283
ロビー	0	0	0	0
小計	38	69	2,458	499,102
合計	78	280	4,782	736,652

(3) 社会体育振興事業

① 事業の目的・内容

ア 第9回安芸太田町民グラウンド・ゴルフ大会

11月9日 深入山グラウンド・ゴルフ場 26自治振興会 98名参加

イ 第23回近郡親善ゲートボール大会

中止(新型コロナウイルス感染拡大防止の観点による)

② 事業の成果と課題

新型コロナ感染症拡大により、事業中止とせざるを得なかったが今後も住民ニーズを把握しながら、スポーツ振興に資する住民の活動を支援する必要がある。

③ 歳出決算額 173,258円

◆評価

事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要あるか)			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト削減しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度(計画どおりに目標を達成できたか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
備考				
外部評価	B	評価委員意見	社会体育の事業内容が限られているのは寂しい。広く住民からの要求を募って企画されることで、住民の健康維持を図っていくとよい。	
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了			